

# 設立趣旨書

## 1 趣旨

障害のある方が、社会の中で「自分らしく」生きて行くには、まだまだ多くの制約があり、生活することが、むずかしくなっています。その制約が心の葛藤となり、外側と内側のバランスの取れた心のケア（安定）が必要ではないかと感じています。

障害のある方が、豊かに自由に生きて行くには、先ずは、外、内を解放するスペースが必要であると考えます。そこで、私たちは、自分らしく生きる方法として、自分の思うまま好きな事に熱中できることが、心の自由（解放）を得る一番の方法であると考えます。そして、個人の能力を最大限に発揮できる創作活動（自己表現）を目指します。外側に対しては、創作（作品）をコンクール・展覧会・個展等、社会に発信することで、社会と障害のある方を、つなぐことが重要であると考えています。前身である任意団体の片山工房は、創作活動にじっくり時間をかけ、個人が想像をクリエイトしやすい環境づくりを行ってきました。又、生きる拠点として決まった場所があることが、個人の安定した気持ちをつくり、豊かな心と自由な創造性を産み出す場になるのではないかと考えています。利用する人たちが増えたことにより、環境を提供するスペースの拡大や母体（拠点）永続の必要性を感じ、障害のある方のニーズに応じて行くために。この福祉施設が行政・市民・教育・美術関係者が障害のある方の理解を深める事で、社会の制約を一つでも減らす事が出来れば、自分らしさを必要としている人々に対して、より貢献できる事業だと確信しています。将来は、障害のある方が社会の一員から、自己表現を通して、社会に「役立つ」を目標に、次世代につなぐ、心の福祉として、特定非営利活動法人100年福祉会を設立いたします。

特定非営利活動法人100年福祉会 片山工房 理事長  
新川 修平